

一般社団法人岩手県介護福祉士会

令和6年度ファーストステップ研修開催要項

1 主催（※北東北3県介護福祉士会合同開催）

公益社団法人日本介護福祉士会／一般社団法人岩手県介護福祉士会／
一般社団法人秋田県介護福祉士会／一般社団法人青森県介護福祉士会

2 開催方法

リモート受講（Zoom） ※オンライン環境が整わない場合、事務局へご相談ください。

3 期間及び時間

令和6年7月20日（土）～令和7年3月8日（土）

全日程 9：30～17：00（受付9：15～9：30）

※7月20日（土）のみ、9：00～17：00（受付8：45～9：00）

※やむを得ない事由により、日程変更があり得ますのでご了承ください。

4 受講対象者

以下の①又は②を満たす者とする。

①介護福祉士資格取得（登録）後2年以上で、本会主催の「初任者研修（平成28年度まで開催）」
又は「基本研修」を修了した者。

②実習指導者講習会修了者。

※どちらも受講していない場合は、今年度中に「基本研修」又は「実習指導者講習会」を受講する
場合に限り受講可能とする。

5 定員

30名 ※申込みが各県5名に達しない場合は、中止になる場合があります。

6 受講料

会員：60,000円（1科目4,000円×15科目）

非会員：105,000円（1科目7,000円×15科目）

<支払い方法>

①一括払い ②分割払い・会員のみ（20,000円×3回）

※払い込まれた受講料は、返金出来かねますのでご了承ください。

7 研修時間

受講時間232時間（内112時間は通信教育）

※ファーストステップ研修では、45分を1時間として取り扱います。

8 日程

日程表（別紙1）を参照してください。

※欠席の場合は、次年度補講が可能です。開始年度を含めて3年度以内に全日程終了した場合に
修了証が交付されます。（補講科目数に応じた受講料が追加発生します。）

※裏面もご覧ください。

9 修了証の交付

全日程の講義を受講し、修了課題の提出・評価後に、公益社団法人日本介護福祉士会より研修修了証が交付されます。

※修了課題の査読及び修了証の発行手数料として、別途 5,000 円が必要です。

10 研修領域の目的

(1) ケアの領域

小規模チームのリーダー的な職員として、的確な判断、対人理解に基づく尊厳を支えるケアが実践できるように学ぶ。在宅や施設での介護場面において、利用者の尊厳が損なわれている状況に気づき改善できるようになる。また、状況に応じた適切なコミュニケーションの方法を習得する。望ましいケアの方法を助言できるようになる。

(2) 連携領域

小規模チームのリーダー的な職員として、介護過程の適切な管理、他職種、家族、地域との連携によるチームケアが推進できるように学ぶ。

(3) 運営管理基礎領域

小規模チームのリーダー的な職員として、サービス管理・運営管理の基礎知識となる知識や方法を学ぶ。チームのまとめ役としての役割・責任を認識し、利用者の安心・安全な生活を支えるための、問題解決の着眼点と技法を学ぶ。自職場のサービス、組織、マネジメントの課題の把握と分析方法を学び改善の一助とする。

※「総合学習」は、全科目履修した方のみ受講対象となります。

11 研修内容

カリキュラム（別紙2）を参照してください。

12 受講申込方法

申込み専用フォームからお申込みください。

⇒ <https://forms.gle/KrrrDyAYpuiMjXvB7>

なお、本会ホームページからも申込み専用フォームに進むことができます。

(<https://iwate-kaigofukushi.com>)



13 申込締切

令和6年6月25日（火）

※申込締切後、振込先を記載した受講決定通知書を送付します。

14 問合せ先

一般社団法人岩手県介護福祉士会事務局（担当：高橋）

〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3 ふれあいランド岩手内

（岩手県社会福祉協議会 福祉人材研修部内）

TEL：019-637-4527 FAX：019-637-9612

E-mail：k-takahashi@iwate-shakyo.or.jp

【別紙1】

令和6年度ファーストステップ研修日程

※領域順になっているため日程が前後しています。

領域	受講日 (R6)	科目名	所属
			役職：講師名
	7月20日(土)	オリエンテーション	青森県介護福祉士会 事務局
ケア	7月20日(土)	第1科目： 利用者の全人性、尊厳の実践的理解と展開	前日本介護福祉士会 会長 熊本県介護福祉士会 会長 石本 淳也 氏
	8月3日(土)	第2科目： 介護職の倫理の実践的理解と展開	青森県介護福祉士会 研修委員長 片川 ひろえ 氏
	10月27日(日)	第7科目： コミュニケーション技術の応用的な展開(全体)	秋田県介護福祉士会 秋田看護福祉大学 医療福祉学科 准教授 石岡 和志 氏
	11月9日(土)	第8科目： コミュニケーション技術の応用的な展開(認知症)	日本赤十字秋田短期大学 介護福祉学科 教授 井上 善行 氏
	11月23日(土)	第9科目： ケア場面での気づきと助言①	岩手県介護福祉士会 東北福祉大学総合福祉学部 社会福祉学科 講師 相場 恵 氏
	12月7日(土)	第9科目： ケア場面での気づきと助言②	岩手県介護福祉士会 東北福祉大学総合福祉学部 社会福祉学科 講師 相場 恵 氏
連携	8月17日(土)	第3科目： 家族や地域の支援力の活用と強化	秋田県介護福祉士会 副会長 特別養護老人ホーム真昼荘 生活相談員 畠山 朋寿 氏
	9月7日(土)	第4科目： 職種間連携の実践的展開	岩手県介護福祉士会 岩手県立大学社会福祉学部 講師 松永 繁 氏
	12月21日(土)	第10科目： 観察・記録の的確性とチームケアへの展開	岩手県介護福祉士会 障がい者支援施設瑞雲荘 安村 正春 氏
運営管理基礎	10月12日(土)	第6科目： セーフティマネジメント	秋田県介護福祉士会 理事 障害者支援施設秋田ワークセンター 生活支援課主査 佐藤 大志 氏
	9月28日(土)	第5科目： 問題解決のための思考法	八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 教授 小川 あゆみ 氏
	(R7) 1月18日(土)	第11科目： 介護職の健康・ストレスの管理	青森中央学院大学 看護学部 准教授 川添 郁夫 氏
	(R7) 2月1日(土)	第12科目： 自職場の分析	青森県立保健大学 健康科学部 教授 工藤 英明 氏
	(R7) 2月15日(土)	第13科目： チームのまとめ役としてのリーダーシップ	八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 教授 小川 あゆみ 氏
	(R7) 3月8日(土)	第14科目： 総合学習	岩手県介護福祉士会 副会長 障がい者グループホーム野駄の家 管理者 飛塚 拓 氏

※全日程時間 9:30~17:00(受付9:15~9:30)

7月20日(土)のみ、9:00~17:00(受付8:45~9:00)

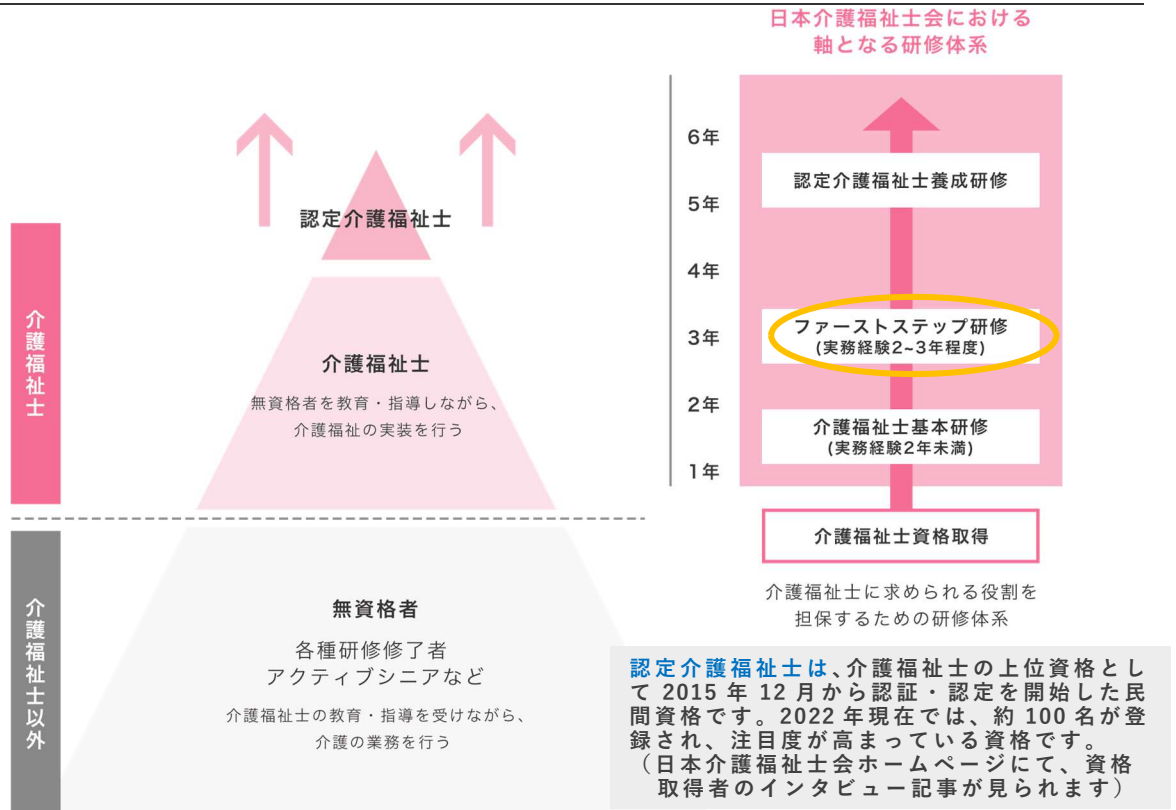
【別紙2】

ファーストステップ研修カリキュラム

領域	時間数	科目名	時間数（1時間＝45分）			
			研修	事前課題	事後課題	時間合計
ケア	88	利用者の全人性、尊厳の実践的理解と展開	8	4	4	16
		介護職の倫理の実践的理解と展開	8	4	4	16
		コミュニケーション技術の応用的な展開（認知症）	8	4	4	16
		コミュニケーション技術の応用的な展開（全体）	8	4	4	16
		ケア場面での気づきと助言①	8	4	/	12
		ケア場面での気づきと助言②	8	4		12
連携	48	家族や地域の支援力の活用と強化	8	4	4	16
		職種間連携の実践的展開	8	4	4	16
		観察・記録の的確性とチームケアへの展開	8	4	4	16
運営管理基礎	80	チームのまとめ役としてのリーダーシップ	8	4	4	16
		セーフティマネジメント	8	4	4	16
		問題解決のための思考法	8	4	4	16
		介護職の健康・ストレスの管理	8	4	4	16
		自職場の分析	8	4	4	16
	16	総合学習	8	4	4	16
合計時間数			120	56	56	232
修了課題			取り組む期間 2週間			

■ ■ 「介護福祉士ファーストステップ研修の受講支援を行うこと」が、処遇改善に係る算定要件「職場環境等要件」として新たに認められました ■ ■

参考) 日本介護福祉士会における介護職チームの在り方を踏まえた生涯研修体系



◎これらは介護福祉士として働くために必ずしも必要なものではありませんが、キャリアアップを目指す上で大変有効です

軸となる研修の概要

介護福祉士基本研修 (資格取得後～実務経験2年未満を目安に)

介護福祉の専門職である介護福祉士として、生活支援としての介護の視点、自立支援の考え方、介護過程の展開等を学び、根拠に基づいた質の高い介護の実践力を培う研修



専門性を磨き、小規模チームのリーダーを養成

ファーストステップ研修 (実務経験2年～3年を目安に)

資格取得後の「求められる介護福祉士像」を目指し、小規模チームのリーダーや初任者等の指導係として任用することを期待できる人材養成を目的とする ※「実習指導者講習」「介護福祉士基本研修」修了が受講要件になります。



認定介護福祉士養成研修 (実務経験5年以上を目安に)

チーム介護職チームに対する教育指導、介護サービスマネジメントを行い、介護職のサービスの質を向上させる。地域包括ケアを推進するため、介護サービス提供において多職種との連携・協働を図る。地域における施設・事業所、ボランティア、家族介護者、介護福祉士等の介護力を引き出し、地域の介護力の向上を図る。といった役割の期待される介護福祉士を養成するための研修 ※「ファーストステップ研修」修了が受講要件になります。

◇改めて見直ししてみませんか◇ 一求められている自分の役割一

介護福祉士の役割

介護福祉士には、介護現場において専門性をもって、チームケアを推進する際のリーダーとしての役割を担うことが期待されており、このことについては、厚生労働省の社会保障審議会の報告において、以下のように示されています。

- 今後、介護サービスの利用者がさらに増加していく中で、利用者のニーズが複雑化・多様化・高度化することが見込まれ、そのようなニーズに的確に対応するには介護職がグループで関わるのが重要になると考えられる。
- 介護職には、介護未経験者から介護福祉士まで多様な人材がおり、それぞれの人材が有している知識・技術に応じて役割を担うことになる。
- 利用者の尊厳と自立の支援に向けて、サービスが適切に提供されているかの管理など、人材及びサービスの質のマネジメントを担う者が必要である。
- 介護職として従事している介護福祉士は、介護職員の約4割を占め、介護報酬上も介護の専門職としての評価がなされている。(サービス提供体制強化加算)
- 上記を踏まえると、利用者の多様なニーズに対応できるよう、介護職のグループによるケアを推進していくにあたっては、その中でリーダーの役割を担う者が必要であり、その役割を担うべき者としては、介護福祉士の中でも一定のキャリアを積んだ(知識・技術を習得した)介護福祉士が適当である。

社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会「介護人材に求められる機能の明確化とキャリアパスの実現に向けて(概要)」(平成29年10月)

◆◆◆実際に受講した皆さんの声をお聞きください◆◆◆



受講者の声 (令和5年度ファーストステップ研修アンケートより)

- 講師の先生方や他受講生の前向きな考え方、発言を聞くことで、自分自身のネガティブな考え方がポジティブな思考に少しずつ変わっていった。(青森県 K.Y様)
- 介護に対する考え方、チームとして自分の立ち位置を確認し、動き方が変わった。(秋田県 S.Y様)
- 介護福祉士を取ったという事の責任、介護の仕事をどのようにしていくか、そのすべてが自分の行動や考え方にかかっていると思うようになった。今までは目の前の今の姿のみをとらえて支援していく事を簡単に考えていたが、学びを通じその人のこれまでの生き方を大事にしていきたいと考えるようになった。(神奈川県 S.K様)
- チームのリーダー的な立場に立つと言うことは様々な事を学ぶ必要があるのだと再確認した。自分自身、リーダーとしての立場にいるが知識として知らないことが多かったと感じている。講師から知識を学び、グループワークで他者の意見を聞く、発表するプロセスが有って学びが身についていくのだと感じた。(青森県 T.Y様)
- 介護福祉士になってからは介護福祉士基本研修やファーストステップ研修を受講して学ばなければ、本来の重要な役割は理解することは困難と思いました。独自の考えを先入観や経験で判断していたところがあり、受講生では同じ介護福祉士でも考えや見かた、アプローチが色々あり、自分自身は固定概念にとらわれていたと感じ、様々な意見を聞いたり、話をしたりすることでまだまだ自己研鑽が必要と感じました。(神奈川県 A.T様)
- 利用者一人のケアに対して多くの視点、視野、視座から見ることで本当に必要なケアが分かってきて、自立支援につながるケアの介護過程を展開していく楽しさを学ぶことが出来ました。(神奈川県 A.K様)
- 基本的な「介護福祉士としてのあり方」を改めて見直すことが出来、自分の仕事に誇りが持てるようになりました。人前で話すことは緊張しましたがこれからも自己研鑽を続けていきたいと思えます。(神奈川県 O.K様)
- 研修を通して講義の項目で必ず自職場の分析や改善をセットで考える機会を頂いたことで、自職場の業務割り振りや職員の業務量の把握を実践した事で、職場内が活性化した。(神奈川県 K.T様)
- 分析する力や、解決していくための力、介護福祉士の専門性を言語化する力を得ることができた。(神奈川県 S.K様)

～14名の方にアンケートのご協力をいただきました～